

日本太阳能发电协会：到 2050 年将日本太阳能发电量增加到 300GW

近期,日本太阳光发电协会(JPEA)发布了其长期愿景的最新版本“ PV OUTLOOK 2050”,该目标设定了到 2050 年在日本导入太阳能发电的目标。为了实现《巴黎协定》所规定的应对全球变暖的长期目标,有必要在 2050 年之前用太阳能发电满足日本约 30%的电力需求,并且其制定的目标比以前更高。

在 2017 年发布的 JPEA 的“ PV OUTLOOK 2050”中,到 2050 年太阳能发电的目标数量为 200 GW(联网输出基础)。这是为了实现日本政府的环境目标,即到 2050 年将二氧化碳排放量减少 80%。

但是,在这次发布的最新版本中,常规的导入目标 200 GW“不足以将政府目标降低 80%”,并且在联网输出基础上增加到 300 GW,在太阳能电池板基础上增加到 420 GW。该 300 GW 是假设太阳能安装量最大化的情况下的数值,由于在多个导入方案中社会电气化的进步,该数值更接近于实现政府的“减少 80%的目标”。

预计 300 GW 的安装位置是在需求区域(如房屋,非住宅建筑物和工业园区)安装的 147 GW,其余 153 GW 被假定为非需求区域。

■ 2050年 想定導入量における導入場所

- ▶ 経産省・NEDOの調査では、約700GWの導入ポテンシャルが報告されている
- ▶ 本ビジョンにおける2050年最大化ケースでは、下記導入場所で420GWDCを想定
- ▶ 今後は非住宅建物・農業関連への導入が重要となる

大分類	分類	導入場所	2050最大導入ケース		
			DC(GW)	AC(GW)	積載率(%)
需要地 設置	住宅	1. 戸建て住宅	75.0	61.0	123%
		2. 集合住宅	28.0	22.4	125%
	非住宅	3. 非住宅建物	42.0	33.6	125%
		4. 駐車場等交通関連	25.0	16.7	150%
		5. 工業団地等施設用地	20.0	13.3	150%
小計		190.0	147.0	129%	
非需要 地設置	非農地	6. 2019年度迄FIT認定 非住宅	70	46.7	150%
		7. 水上空間	35.0	23.3	150%
		8. 道路・鉄道関連施設	9.0	6.0	150%
	農業関連	9. 耕作地	76.0	50.7	150%
		10. 耕作放棄地	30.0	20.0	150%
小計		230.0	153.3	150%	
合計			420	300	140%

(*) 経産省 平成26年度 新エネルギー等導入促進基礎調査 再生可能エネルギーの普及可能性に関する調査報告書
NEDO 平成24年年度成果報告書 太陽光発電における新市場拡大等に関する検討

如果实现 300 GW 的导入,到 2050 年,太阳能的电力供应比例将为 31%,风电为 15%,

水电为 10%，可再生能源为 7%，核电为 11%，火电为 25%。在引入的蓄电池数量广泛的情况下，这是假定值。假设在非住宅建筑和工业园区等需求区域将安装 147GW，其余 153GW 将成为非需求区域。

文章来源：PV JAPAN BRIDGE